

「新15歳になります」

志茂田景樹氏が講演

青少年育成春日部市民会議は、直木賞作家の志茂田景樹（しもだかげき）氏を講師に迎え、「耳に残る母の読み聞かせ」をテーマにした家庭教育講演会を2月13日、中央公民館で行った。

志茂田氏は「今日はファッションがたいへん地味になってしまいい」と会場を沸かせた後、「60歳以上の方、手を挙げてください」、そして「実際の年齢から60を引いて、新を付けてください」、「新0歳

なら2歳や3

歳の子どもから学ぶことが出来ます。夢や目標を持つことが出来ません。私は間もなく新15歳になります」。

続いて、子どもの時に母親から本の読み聞かせを受けた心地よい体験から、「よい子に読み聞かせ隊長」として全国で1700回以上の読み聞かせを行っている、と話し始めた。最初は全国の書店で新刊書のサイン会をしていたが、子どもたちが大勢来たので読み聞かせを始めたといい。子どもは、いつでもどこでも宝だと強調。続いて絵本を映写しながら「ぞうの子どもがみたゆめ」と「まんねんくじら」の読み聞かせを行った。「いつまでも元気で。元気に人生を楽しみましょう」と講演を終え、会場から大きな拍手を浴びていた。

